

### 1 見直しの趣旨

**水道事業を取り巻く環境の変化**

- ・人口減少などによる水需要の減少
- ・水源水質の変化
- ・**能登半島地震など**自然災害の激甚化
- ・**管路の老朽化に起因する事故の発生**
- ・技術系職員の退職

能登半島地震による被害状況  
京都市下京区の水道管漏水事故  
(出典：国土交通省資料)

安全な水の安定供給および  
地域産業の健全な発展に貢献するため、  
健全な経営を将来にわたり確保する

**中長期的な視点に基づく経営の基本計画**

計画期間：10年間（令和3年度～令和12年度）  
**見直し期間：5年間（令和8年度～令和12年度）**

### 2 R3年度～R7年度における主な取組と課題

**【安全】**  
取組：水道GLPの更新、PFASに関する情報収集の実施  
課題：国、県、市町等と連携した水質状況の把握および情報提供・共有、か  
び臭発生時におけるより効果的な情報提供方法の検討が必要

**【強靱】**  
取組：アセットマネジメント計画の見直し、吉川3系浄水施設の新設  
課題：施設等の老朽化・耐震対策の計画的な推進が必要

**【持続】**  
取組：活性炭の共同購入等による広域化の推進  
課題：人口減少に伴う給水量の減少を見据えた施設規模の適正化や物  
価高騰等に対する経営の効率化等が必要

### 3 基本理念・基本目標

基本理念 **信頼の水で、地域の未来に貢献します**

基本目標

**【安全】**  
安全で良質な水を  
安定して供給します

**【強靱】**  
信頼を支える強靱な  
ライフラインを構築します

**【持続】**  
社会の変化に対応した  
持続可能な経営を推進します

### 4 目標達成に向けた取組

#### 横断的取組

**1 リスクコミュニケーション**

・水質検査、災害、事故などのリスクについて、受水市町、受水企業、県、国  
および関係地域等との平時・有事における情報交換・共有等による連携強化

**2 DX活用・推進**

・業務効率化、迅速・正確な危機管理対応などを図るため、DXを計画的に推進

受水市町担当者会議  
合同訓練  
出前講座  
水管橋点検への空中ドローンの活用  
人工衛星を活用した漏水調査  
(出典：国土交通省 上下水道DX技術カタログ)

#### 個別的取組

**1 【安全】**  
水道水源への対応

- ・環境動向の把握と対応
- ・森林保全活動の実施

**水質管理の強化**

- ・**水質検査結果の情報発信**
- ・**新たな水質基準項目への対応**

**安全で安定した水の供給**

- ・水安全計画による安全な水の供給
- ・**受水市町担当者会議等における情報提供・共有による施設・管路の適切な維持管理**
- ・**異臭発生時における情報発信**、対応

**2 【強靱】**  
施設の計画的な更新

- ・**見直したアセットマネジメント計画の着実な実施**

**水道施設の耐震化**

- ・浄水場等の耐震化
- ・管路の耐震化

**施設の浸水対策**

**バックアップ対策の充実**

- ・非常用発電能力の強化、**燃料供給ネットワークの維持・強化**

**危機管理体制の強化**

- ・危機管理マニュアルの充実
- ・事業継続計画（BCP）の充実
- ・原子力発電所事故への備え
- ・災害・事故時対応訓練の充実
- ・応急給水資機材、復旧資機材の確保

**3 【持続】**  
健全経営の維持

- ・適正な料金設定
- ・**拡充した優遇制度を活用した新規受水企業の開拓**

**経営の効率化の推進**

- ・施設規模の適正化
- ・維持管理コストの削減

**経営基盤の強化**

- ・**上下水道事業の連携、広域化の推進、民間活力の更なる導入など経営基盤強化の方法について、国の動向、市町の意見、他府県の事例を参考に幅広く検討**

**地域経済の活性化への貢献**

- ・県内事業者への受注機会拡大と県内生産資材の利用促進

**人材育成と技術継承**

- ・技術の継承と人材確保
- ・効果的な人材育成

**環境に配慮した取り組み**

- ・**脱炭素ロードマップに基づくエネルギー消費量の削減**
- ・浄水発生土等のリサイクルなどによる環境負荷低減

**地域、社会への貢献**

- ・積極的な情報交換、情報提供
- ・**県内大学や令和10年4月開校予定の滋賀県立高等専門学校との連携**

### 目標指標

**【安全】**

指 標	単位	優位性	目標値 R12
用水 水質基準適合率	%	↑	100
用水 かび臭物質濃度水質基準比率の年間平均値	%	↑	96
用水 苦情発生件数	件	↓	0
工水 苦情発生件数	件	↓	0

**【強靱】**

指 標	単位	優位性	目標値 R12
用水 浄水施設の耐震対策の進捗	箇所	↑	3 (目標値R15)
用水 ポンプ所の耐震対策の進捗	箇所	↑	7
用水 管路の耐震化率	%	↑	50.5
工水 管路の耐震化率	%	↑	26.8
工水 浸水対策の進捗	箇所	↑	1

**【持続】**

指 標	単位	優位性	目標値 R12
用水 経常収支比率	%	↑	100以上
用水 給水収益に対する内部留保資金の割合	%	↑	100以上
工水 経常収支比率	%	↑	100以上
工水 給水収益に対する内部留保資金の割合	%	↑	100以上
共通 県内産バルブの使用率（ <b>推進率</b> ）	%	↑	100
共通 若手水道技術職員の資格取得件数	件	↑	4.5
共通 過去5年間のエネルギー使用原単位変化率対 前年比	%	↓	-1
共通 浄水発生土の有効利用率	%	↑	100
共通 水道事業見学者の理解度	%	↑	100

### 5 投資・財政計画

**基本的な考え方**

- ・自然災害や老朽化に対応するため、アセットマネジメント計画に基づく施設整備事業を着実に実施し、施設の強靱化を図ります。
- ・効率的な経営および適正な料金設定により財政基盤を強化し、経営を安定的に継続します。

**収支見通し**  
（水道用水供給事業）

【収益的収支】

- ・純利益は減少するが、黒字を確保

【資本的収支】

- ・約401億円（R3～R12）の投資を予定

◎主な投資計画

管路更新工事（R8～R12） 70億円  
ろ過池・沈殿池更新工事（R8～R12） 21億円  
集中監視制御設備更新工事（R10～R12） 20億円  
（工業用水道事業）

○彦根

【収益的収支】

- ・令和9年度以降赤字になる見通し  
（**適正な料金設定を検討**）

【資本的収支】

- ・約18億円（R3～R12）の投資を予定

◎主な投資計画

管路更新工事（R8～R12） 6億円  
集中監視制御設備更新工事（R10～R12） 1.4億円

○南部

【収益的収支】

- ・純利益は減少するが、黒字を確保

【資本的収支】

- ・約110億円（R3～R12）の投資を予定

◎主な投資計画

管路更新工事（R8～R12） 41億円  
集中監視制御設備更新工事（R10～R12） 4.6億円

**健全経営の維持・向上に向けた取組**

施設規模の適正化と長寿命化

- ・**見直したアセットマネジメント計画に基づく施設・設備の整備**

維持管理コストの削減と資金調達・運用の検討

- ・**管路のダウンサイジング、ポンプ台数の見直しによる維持管理費の削減**

エネルギー消費量の削減による経費の削減

- ・**高効率設備を備える吉川3系浄水施設の有効活用による動力費削減**

工業用水の需要拡大への取組

- ・**拡充した優遇制度を活用した新規受水企業の開拓**

### 6 計画の推進

毎年度、目標指標の達成度等について、PDCAサイクルに基づき評価を行い、必要に応じて見直しを行います。